

＜キーン・ソード23＞ 航空総隊司令部 AC-130Jの説明を受ける *Air Defense Command receives AC-130J Ghost rider capabilities brief during Keen Sword 23*

November 22, 2022

By Staff Sgt. Braden Anderson
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)11月15日、横田基地で行われた日米共同統合演習「キーン・ソード23」で、航空自衛隊航空総隊司令部防衛・運用課長寺崎隆行空将補(中央)及び第5空軍副司令官ジェシー・J・フリーデル准将(右)と、AC-130Jゴーストライダーの能力について話をする第17特殊作戦飛行隊戦術部長マーク・ウルフ少佐(左)。

同演習は、日米の即応態勢と相互運用性の向上を図るとともに、二国間の関係を強化することを目的としている。2年に1度行われるこの演習は、インド太平洋地域の同盟国やパートナー国の安全保障を支える米国の決意を示すものである。



1

(写真2)キャノン空軍基地第17特殊作戦飛行隊のAC-130Jゴーストライダーに向かって歩く航空自衛隊航空総隊司令部のメンバー。

キーン・ソードで第17特殊作戦飛行隊は、演習のミッションを遂行するために必要な弾薬や人員等の軽量兵站輸送を担い、機敏な戦闘展開戦略を支援した。



2

(写真3)航空自衛隊の隊員にAC-130J内の兵器システムについて説明する第17特殊作戦飛行隊AC-130Jゴーストライダー機上射手アライン・ホールドマン軍曹。

キーン・ソードは、米軍と自衛隊が2年に1度行う日米共同の実働演習で、日米同盟を強化しつつ、即応態勢と相互運用性の向上を図ることを目的としている。



3